

2009. 8月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・ 合同講演会の開催 P 1
- ・ 平成 21 年度まちづくり交付金情報交流協議会 P 3
第 5 回定期総会、講習会及び第 4 回まち交大賞表彰式の開催
- ・ 自治体総合フェア 2009 に出展 P 4
- ・ 会員紹介：昭和株式会社 P 5
- ・ 機構の活動状況 P 6

§ 合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第 4 回目の講演会を、7 月 28 日（火）に都市計画会館会議室において開催いたしました。

国土交通省都市・地域整備局が 2008 年 7 月に組織再編したことによる再編後の同局の行政の課題や方向性について、関係各課から講師をお迎えし、シリーズで各課のご講演をいただくシリーズ第 4 回は、都市・地域政策課の四日市 都市・地域政策企画官をお迎えし、『都市政策ビジョン』と題して講演会を開催しました。



講演では、都市を巡る状況の変化を多角的に把握しつつ、今後における都市政策の基本的な課題と方向などについて審議するため、昨年 5 月に設置された「社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会 都市計画部会『都市政策の基本的課題と方向検討小委員会』」が本年 6 月に取りまとめた報告などを中心としてお話しいただきました。



講演では、小委員会設置の背景と位置づけ並びに小委員会報告の内容として、

- ・都市を巡る社会経済情勢の変化と都市政策の課題
「人口減少・超高齢化の進展と都市の拡散：大都市圏での高齢化他」「都市経営コスト効率化の要請」「地球環境問題への対応」「激化する都市間競争：日本の世界における位置付け他」「行政の広域化に伴う課題：市町村合併の効果他」「農地の転用・開発と都市からみた農のニーズの高まり：市民農園ニーズの高まり他」「国民の価値観の多様化・技術革新・ライフスタイルの変化：経済的繁栄から歴史伝統美しい自然の重視他」
- ・今後の都市政策の基本的な理念 ～将来世代に引き継ぐ豊で活力ある持続可能な都市～
「価値観の転換」「豊かで活力ある持続可能な都市の実現に向けて」
- ・政策転換の視点
「政策領域の拡大」「空間的範囲の拡大」「時間軸の拡大」「多様な主体の参加と実践」
- ・今後の都市政策の方向
「課題対応・問題抑制型」の都市政策から「ビジョン実現型」の都市政策への転換
都市の将来ビジョンに関する共通の指針
「エコ・コンパクトシティの実現：集約型都市構造、郊外部スマートシュリンク他」
「安全で安心して暮らせるまちづくり：リスク情報の活用他」「都市の国際競争力の強化と国際都市連携の推進：世界に通用する技術他」「美しく魅力ある都市の実現」
- ・多様な主体による様々なレベルでのまちづくりの推進
- ・制度見直し検討の方向性
「都市計画制度の見直しに向けて」「市街地整備制度の見直しに向けて」等の各項目についてパワーポイントや資料を用いて説明いただきました。
本シリーズについては、国土交通省関係各課にご協力をいただきながら、今後も進めてまいります。

なお、小委員会の概要等については、下記国土交通省ホームページに詳細が掲載されています。

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s202_tosikeikakunokihon01.html





§ 平成 21 年度まちづくり交付金情報交流協議会第 5 回定期総会、講習会及び第 4 回まち交大賞表彰式の開催

「まちづくり交付金事業」を活用して、地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり交付金情報交流協議会定期総会」が、7月17日（金）全国 296 地方公共団体の出席のもと、東京都千代田区のシェーンバッハ・サポー（砂防会館）において開催されました。

国土交通省都市・地域整備局の栗田卓也まちづくり推進課長並びに本協議会会長の中村時広松山市長にご挨拶をいただいたあと、運営規則の一部改正、平成 20 年度事業報告及び収支決算、並びに平成 21 年度事業計画及び収支予算について審議を行い、承認を得ました。

なお、総会に先立ち、下記のテーマで講習会が行われ、総会の終了後には第 4 回「まち交大賞」の表彰式が行われました。

【定期総会における議案及び報告】

第 1 号議案 運営規則の一部改正（案）

第 2 号議案 平成 20 年度事業報告及び収支決算（案）

第 3 号議案 平成 21 年度事業計画及び収支予算（案）

第 1 号報告 平成 20 年度共同研究について（まちづくり交付金を活用した中心市街地の活性化方策に関する検討調査）

第 2 号報告 人事異動に伴う役員の変更について

【講習会におけるテーマと講師】

テーマ 1 「まちづくり交付金の制度拡充と事後評価について」

講師 国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課 事業評価係長 大道寺崇 氏

テーマ 2 「改正都市再生特別措置法と関連予算について」

講師 国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課 企画法制係 網蔵孝紀 氏

テーマ 3 「まち交大賞 国土交通大臣賞受賞地区の計画概要（熊本市都心部地区）」

講師 熊本市都心活性推進課課長 西島徹郎 氏



第 5 回定期総会の様子



中村会長



講習会の様子



第 4 回まち交大賞 各受賞者

総会において、協議会名称を「まちづくり情報交流協議会」に改称することが決定しました。



§ 自治体総合フェア 2009 に出展

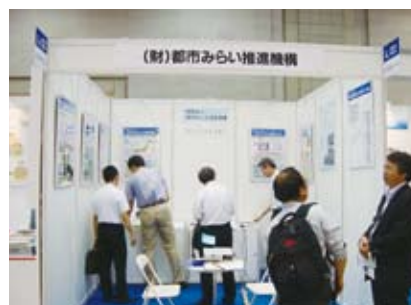
当機構では、7月15日(水)～17日(金)に東京ビッグサイト<東京国際展示場>東展示棟において開催された、(社)日本経営協会主催(後援:国土交通省・経済産業省・総務省他)の主催する「自治体総合フェア」に、今年も出展しました。

自治体総合フェアは、地方自治法施行50周年の節目の1997年(平成9年)に、地方自治の本旨である、民主的にして能率的な行政の確保とその健全な発展に寄与すべく第1回目を開催し、以来毎年、自治体経営の革新を推進し、地域住民が真に豊かさを実感できる魅力ある地域社会の実現を目的に開催されています。

自治体総合フェア2009は、先行き不透明な厳しい社会状況の中で、自治体がめざす地域社会の実現に向けて、今こそ戦略眼を備えた経営を展開することにより、活力に満ちた地域の明日が拓かれることを期待し、『活力ある地域社会の実現～明日を拓く経営戦略～』をテーマとしております。

展示構成は、「利便と信頼の電子自治体推進ゾーン」「安全と安心をまもる危機管理ゾーン」「人にやさしい少子高齢対策ゾーン」「地球温暖化防止と地域環境ゾーン」「活力と活性化のまちづくりゾーン」の目的を明確にした5ゾーンに区分され、当機構は「活力まちづくりゾーン」の1画に出展し、全国の自治体・NPO・民間企業関係者等が多数来店され、まちづくりに関して様々な意見交換をさせていただきました。

会期3日間の来場者数は11,030人でした。(主催者発表)



【展示パネル】

◇まちづくり交付金制度支援

まちづくり交付金制度、まちづくり交付金情報交流協議会

◇まち交大賞

第4回計画大賞(交通大臣賞)受賞地区他、まち交ネット(まちづくり交付金情報システム)

◇幅広いまちづくり支援活動

全国に展開する調査活動、都市拠点形成から土地活用支援まで、まちづくり情報交流コーナー

◇土地活用モデル大賞

模範的土地活用事例の表彰、表彰プロジェクト(国土交通大臣賞、他)

◇都市再生緊急整備地域内における開発プロジェクト調査

◇MIPIM2009への日本ブース出展



§ 会員紹介：昭和株式会社 まちづくりのトータルコーディネーターとして地域に貢献しています！

1. SHOWA のまちづくり支援

昭和(株)は、創業以来85年の間、まちづくりの総合技術コンサルタントとして、各種コンサルティング業務を展開しています。

近年では、人口減少社会への突入や少子高齢化の進行、世界的な経済不況、それに伴う地方行政や土地区画整理組合の財政難といった社会背景を受けて、土地区画整理事業であれば事業再構築や事業の付加価値化、都市計画であれば持続可能なまちづくりの実現に向けた環境負荷の軽減、安全・安心社会の実現、都市施設等のユニバーサルデザイン化、次世代育成への取り組みなどがこれまで以上に求められています。

当社では、こうした社会的要請課題に対応すべく、土地区画整理事業の運営支援から、各種行政計画策定支援や住民まちづくり活動支援まで、積極的にコンサルティング業務に取り組んでいます。

2. 最近のコンサルティング事例

◆エリアマネジメントを目指した「三郷インターA地区のまちづくり」

・三郷インターA地区は面積約86haの土地区画整理事業実施地区です。当社がコンサルタントとして本地区に携わる以前、この地区は、業務代行予定者の経営破綻による事業からの撤退後、事業の継続すら危ぶまれるほどの状態となりましたが、今では事業再構築が成功し、複合施設「ピアラシティみさと」

を中心に大変な盛況を博しています。

・近年では、今後も住民が主体となって計画的にまちづくりを進め、まちの価値を高めて行けるよう、エリアマネジメントの実践を念頭に置いた「景観検討委員会」の発足やその運営を支援しています。



◆日本最南端の動物園のリニューアル「沖縄こどもの国公園整備基本計画」

・沖縄こどもの国公園は、日本最南端の動物園を有する面積約18haの都市公園であり、子育て支援を重要視する沖縄市の中核施設であり、また中心市街地に位置します。動物園の再生などは非常に稀な内容ですが、当社ではこのような業務にも積極的にチャレンジしています。

・本業務は、社会情勢や利用者要望の変化等を受け、動物園区域を中心とした公園全体の再整備を目的としたものであり、当社にて縦横断測量から、バリアフリー体験を盛り込んだ現地調査、さらに専門家の参画を得て基本計画の作成、基本設計の実施、検討委員会の運営支援までをトータルコーディネートしました。



お問い合わせ：まちづくり計画室 TEL 03 (5276) 8780



§ 機構の活動状況

日	7月	日	8月
2	中央区・木更津市の幹部と意見交換・地方の元気再生事業	5	平塚市役所と意見交換
3	港区副市長と意見交換	5	大磯町と意見交換
7	福岡市シーサイドももち地区関連委員会メンバーと意見交換	29	土地活用モデル大賞第2回審査委員会
13	木更津市と意見交換・地方の元気再生事業		
15~17	自治体総合フェア 2009 へ出展		
28	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会（国交省都市・地域政策課）		
28	東京海洋大学意見交換会		
30	東久留米市地域産業振興協議会		
30	中央区・木更津市の関係者打合せ・地方の元気再生事業		
31	首都圏定期借地借家権推進機構と意見交換		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

8	情報部会	5	八重洲・京橋・日本橋分科会/JAPIC 防災委員会 合同会議
9	地下利活用制度整備検討分科会 1W コアスタッフ会議	6	情報化推進部会
13	事業部会	24	地下利活用整備検討分科会幹事会
24	八重洲・京橋・日本橋分科会幹事会	24	八重洲・京橋・日本橋分科会
28	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会（国交省都市・地域政策課）		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

9	技術交流部会及び展示小委員会	6	論文調整打合せ
9	技術研究発表委員会		
28	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会（国交省都市・地域政策課）		

《まちづくり交付金情報交流協議会》

17	まちづくり交付金情報交流協議会総会・講習会 ・まち交大賞表彰式		
----	------------------------------------	--	--

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽 2-2-2
アベニュー音羽 3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他